

注意!!ゴールポストの事故

事故事例の場合や発生状況を見て、事故防止に役立ててください。



ゴールポストに関係する事故に多く見られるのは、

- ①「ぶら下がる」「跳びつく」のような危険な行為
- ②生徒の不注意が原因で「ぶつかる」
- ③強風などで倒れてきたときに「ゴールの下敷きになる」といった事例です。



危険な行為や不注意が大きなケガにつながることを指導すると共に、設置場所や定期的な点検の実施が、事故の未然防止に必要なと言えます。

学年	場合別	ゴールの種類	傷病名・ 障害種別	発生状況
中1	保健体育	ハンドボール ゴール	胸腹部臓器 障害	ハーフタイムに、本生徒はサッカーコート横に設置されたハンドボールの鉄製ゴールのクロスバーにぶら下がって懸垂をしていた。3回目に大きく上体を振り上げたところ、ゴールが倒れて本生徒の腹部がゴールの下敷きになった。
中1	課外指導	サッカーゴール	外貌・露出 部分の醜状 障害	野球部の練習中、トスバッティングであがったフライを追いかけて走っていた。サッカーのゴールポストに気づかず、振り向いたと同時にゴールポストの柱の角にぶつかり前頭部から鼻にかけて挫傷した。
中2	課外指導	ハンドボール ゴール	外貌・露出 部分の醜状 障害	部活動の準備中、ハンドボールゴールの中で準備をしていたが、突然の強風で倒れてきたゴールが左頬、首筋に当たった。
中3	保健体育	サッカーゴール	右上腕骨 骨折	サッカーの試合中、サッカーゴールにぶら下がって遊んでいたが、手が滑って右肩から地面に落下し受傷する。
高2	課外指導	サッカーゴール	左母趾末節骨 開放骨折	部活動中に、運動場で練習に使うゴールポストを部員全員で運んでいた際、誤ってゴールポストを離してしまい、本生徒の左足が挟まれてしまい、負傷した。
高3	保健体育	ミニサッカーゴール	精神・神経 障害	ミニサッカー場でサッカーを行い、終了後、ふざけてゴールポスト上側に両足をかけぶら下がった際、バランスを崩しゴールポストごと転倒し地面に首を強打した。首から下の感覚の麻痺が確認された。